

## JICA国内拠点施設のアスベスト含有調査業務請負契約

(公告/公示日：2018年2月6日/公告番号：国契-17-122) の質問に関し、以下の通り回答いたします。

通番	該当頁	項目	質問	回答
1			二次調査（現地）での目視及び、検体採取の日程は、①連続する日にち、②数日間の間隔が開いてもよい、③目視・採取を同時に行う、④計画段階で検討し、各施設により決められる。いずれでしょうか？もしくは、その他であるならば、どのように進行を計画しておられるでしょうか。	二次調査（現地調査）の日程は、限られた現地滞在期間で所期の成果を得られるよう想定しています。したがって①、③を原則としますが、各施設ごとに若干のイレギュラーな要素も出てくる可能性もあります。その場合は個別に協議を行い、双方合意の上で決定します。
2	P14	第2業務仕様-2. 本業務の目的- (2)	「アスベスト飛散防止策（撤去、封じ込め、囲い込み）を計画的・合理的に実施すること」とあります。これは、①当業務のサンプリングに対する飛散防止策のこと、②石綿含有が認められた場合の部位についての防止策の提案、③「②」の場合に防止策（飛散しないような封じ込めや、除去）を行う。①～③のいずれまでをいうのでしょうか。	該当箇所の「本業務の目的」は、「上位目標」を表現したものであり、本業務自体の内容を規定したものではありません。正確には、P.15図1の通り、①アスベスト台帳への調査結果の記載と、②調査報告（報告書および報告会）による現況の共有となります。
3	P20	第2業務仕様-7. 業務従事者の要員配置・業務量目途	「～石綿作業主任者技能講習修了者のうち、石綿等の除去等の作業の経験を有するものとする」について、当社の本業務従事者に選任予定者は、石綿作業主任者及び、アスベスト診断士、石綿に関するクロスチェックAランクを保持しています。また、石綿除去に関わる環境測定を行っており、この内容が「～除去等」にあたるかと考えております。考え方に相違は無いでしょうか。	本案件はアスベスト除去作業の事前調査を行うものであり、従事者は除去作業そのものではなく、あくまで調査作業への従事経験が問われています。この主旨において、質問中で提示いただいた貴社選任予定者の経歴は、条件を満たしていると考えられます。
4	P20	第2業務仕様-8. 積算方法	「検体調査は全国内拠点で全95本を想定」とあります。平均すると約8検体/施設となります。これまでの当社の経験上、本業務施設では、95検体の範囲を超過することが予想されます。担当者等との協議により、超過した場合、別途費用請求は可能でしょうか。	想定している検体数は、弊機構で過去に実施した類似事例や施設の築年数を基に積算した数量に多少の余裕を持たせた数量を設定しているため、これを超えることは想定していません。一方、業務遂行のため検体数が95本を超える場合、もしくは下回る場合は、契約変更により実績の検体数に応じた費用をお支払いします。
5	P21	第2業務仕様-11. 閲覧資料	11. 閲覧資料の内、各図面について、①コピー等持ち帰りは可能でしょうか、②写真撮影は可能でしょうか。また、落札・契約に至った場合、これら資料の拝借は可能でしょうか。	目的外使用を認めないことを条件にコピー及び写真撮影は可能です。また、落札後は受注者に対し同資料を貸し出すことは可能です。
6	P15	4. (1) 業務内容	3行目に「本業務仕様書P. 619図3」は「本業務仕様書P. 19図3」でしょうか。	ご指摘の通りです。「本業務仕様書P. 19図3」に訂正します。
7	P16	4. (2) ②イ) 二次調査	試料採取後の補修は、テープ貼り・飛散防止剤散布のような簡易的なものでよろしいでしょうか。	採取した試料の製品形態により有効に飛散防止しかつ目立たない方法での補修を提案し、発注者の承認を得て実施してください。なお、補修法は、表に現れているボード類については同様の非アスベスト製品で置換した上で非アスベスト塗料の塗布、ペイント部についてはケレン後に同色の非アスベスト塗料の塗布、屋根裏等の吹付アスベストについては飛散防止剤の散布、配管部断熱材等は非アスベスト断熱材への置換等を想定しています。
8	P16	4. (2) ②イ) 二次調査	目視確認、採取にあたり、足場（脚立やローリングタワー足場）の設置が必要でしょうか。必要な場合は、事後精算となりますか。	脚立が必要になることがありますが、訪問先にて無償にて借用可能です。ローリングタワーや枠組足場等の使用により費用がかかる場合は、契約変更により実費精算します。
9	P16	4. (2) ②イ) 二次調査	4行目に「分析により判定」とありますが、分析方法は、JIS A 1481-1によるアスベスト定性分析のみでよろしいでしょうか。	その通りです。
10	P18	4. (3) 留意事項エ)	屋上のアスファルト防水シート、たわみ継手（キャンパス）等、採取により防水等機能を損失するおそれのある建材も対象と致しますか。	対象とします。あらかじめ採取後の補修を考慮した採取法を工夫してください。
11	P18	5. 成果品	「調査報告書（電子データ）」について、ファイル名の記載方法、ワード・エクセルのバージョン等、CD-ROMに保管する際の作成方法や決まりがございましたらお教え下さい。	ワード、エクセルについてはOffice2010との互換性があるデータを納品してください。ファイル名の記載方法、CD-ROMに保管する際の作成方法に関しては、現時点では特に指定はありません。
12	P18	5. 成果品③	位置図とは、アスベスト含有または疑いの箇所について、建物の平面図に当該位置を示した図というイメージでしょうか。	その通りです。
13	P20	8. 積算方法	「検体調査は全95本を想定」とありますが、検体数が上下した場合には、検体数に応じて事後精算となりますか。	通番4の回答を参照ください。